

平成30年度青森県公社等経営評価書

(平成29年度決算ベース)

法人名等		法人の自己評価(経営評価指標)			
5	青森県道路公社				
所管課名	県土整備部道路課				
決算状況 (単位:千円、%)					
出資	資本金	県出資額	県出資比率		
	8,235,500	8,235,500	100.0		
決算	前期利益	当期利益	利益剰余金		
	0	1,732	24,909		
資産	資産	負債	純資産		
	32,956,204	24,695,795	8,260,409		
財務分析指標		上記についての所管課の意見・評価			
自己資本比率	総資産 経常利益率	県財政関与率	総資産回転率	売上高 経常利益率	【目的適合性】 ◎ 経営コスト縮減及び利用者サービスの向上策等の取組により、平成22年度から26年度までの前中期経営プランでは、計画を上回る実績を挙げており、現中期経営プランでも、現時点では、計画を上回る債務削減をはたしているなど、計画の達成が期待される。 青森空港有料道路については、料金徴収期間の10年間延長が許可され、今後債務の償還を進めていくこととなるが、経営状況を注視し、計画通り債務償還を進められるよう、助言、指導等を行っていくこととしたい。
25.06	2.92	8.51	6.33	46.06	
販売管理費 比率	人件費比率	流動比率	借入金比率		
3.67	3.95	39.22	22.21		
経営評価結果					
評価区分	B:改善の余地あり				
<p><財務状況> 財務の状況については、赤字を計上することなく、黒字基調となっていることは評価できる。借入金残高は依然高い水準にあるものの、23期連続で減少している状況にある。</p> <p><経営状況> 法人が自己評価した経営評価指標の項目については、各評価項目において、概ね妥当なものと認められる。</p> <p><改善事項等> 平成26年度に新たな「中期経営プラン(平成26年度～平成30年度)」を策定し、着実に長期債務の解消に向け取り組んでいるほか、繰上償還等による金利負担の軽減にも取り組んでいるが、依然として借入金残高は高い水準にあり、借入時の金利が高い債務も散見されることから、引き続き県とも協議のうえ、早期の債務解消と金利負担軽減に向けた方策を更に検討・実施していただきたい。</p>					
<p>【計画性】 ◎ 経営コスト縮減及び利用者サービスの向上策等の取組により、平成22年度から26年度までの前中期経営プランでは、計画を上回る実績を挙げており、現中期経営プランでも、平成29年度末の段階で計画を上回る債務削減をはたしているなど、計画の達成が期待される。</p> <p>【組織運営の健全性】 ○ 再雇用職員等を活用しつつ適正な人員配置に努めているものの、今後の人材の育成確保が大きな課題であることから、業務量等を踏まえた業務執行体制について引き続き検討する必要がある。</p> <p>【経営の効率性】 ○ 老朽化する設備の更新等のため技術職員を増員し、適切な施設管理等による道路の安全確保に努めながら、経費節減にも取り組み、計画を上回る債務削減を達成している。</p> <p>【財務状況の健全性】 ○ 借入等により資金を調達し有料道路を整備、料金収入で債務を償還するという有料道路のスキーム上多額の長期債務を抱えているものの、維持管理経費の縮減や金利負担の軽減策に取り組むなど、収益力の向上と債務圧縮を着実に実現しており、財務状況が改善されてきている。</p>					